

< 6 年理科 >

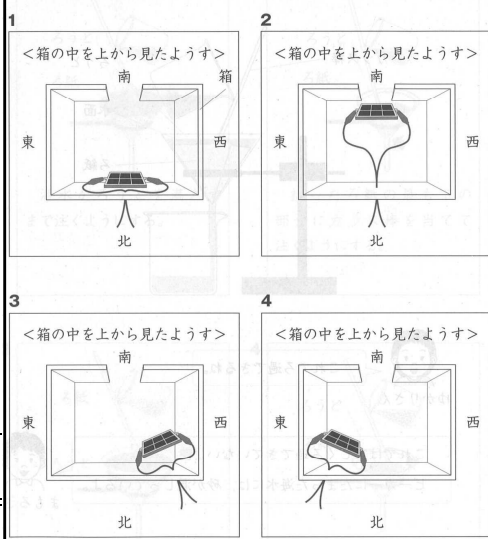
問題内容 (問題数)			正答率 (%)	
			6 年	
			全国平均	本校
理科	○成果	骨と関節のしくみ (3問)	70	△ 82
		太陽の1日の変化と光電池 (1問)	42	△ 57
	●課題	天気と川の水位の関係 (1問)	60	▼ 52

○成果・・・「骨と関節のしくみ」 「太陽の1日の変化と光電池」

「骨と関節のしくみ (3問)」の正答率が82% (全国平均70%) でした。骨と骨のつなぎ目を【関節】と正答した児童が90%。「人の腕が曲がる仕組み」についてもよく理解できていました。これは4年生の学習内容です。冬休みや学年末 (3月) に4年生の復習に取り組んだ成果です。

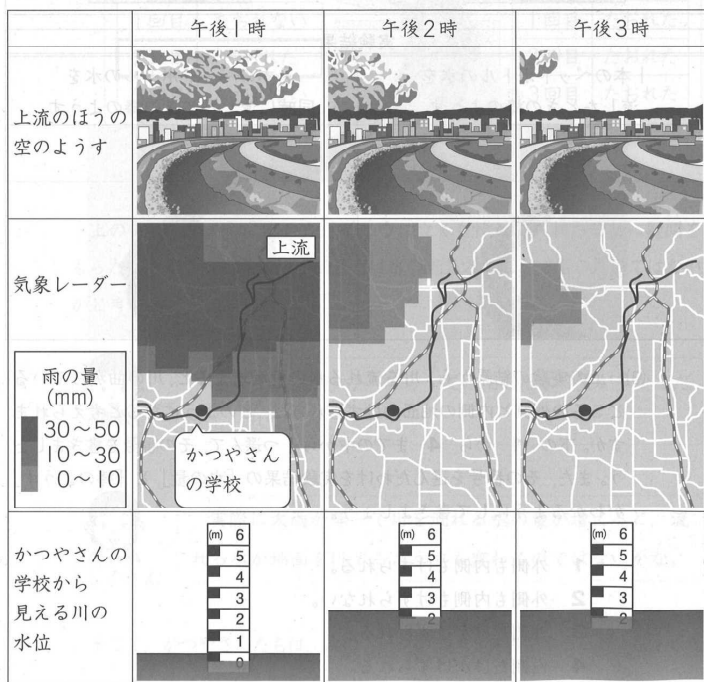
「太陽と1日の変化と光電池」の正答率が57% (全国平均42%) でした。「メダカの水槽を冷やすのに、午後1～3時までだけプロペラのモーターを動かすには、光電池を箱のどこに置けばよいか」を答える問題です。太陽の動きと日陰の位置の変化を正しく理解できています。これは太陽の動きを模型で説明するなど、印象に残る授業を行った成果です。このような、「学びを生活体験に結びつけた問題」も正答率が高かったです。 【正解4番】 →

(4) 午後1時ごろから午後3時ごろだけプロペラが回るようにするには、箱の中で光電池をどのように置けばよいと考えられますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



●課題・・・「天気と川の水位の関係」

雨のふり方と川の水位の関係を、「上流の空の絵」「気象レーダー」「水位を表すもの」を関連づけながら、分析して考察する問題です。今後は、複数の情報を多面的に分析する学習活動を大切にしていきます。



課題があった問題

【正解】 2と3
 岡野小 ▼52%
 全国平均 60%

表をもとに、雨の降り方と増水の関係を考察する問題です。上流で雨がふったときに、下流ではすぐに水位が上がらないといった「時間的」な見方や、上流と下流には距離があるといった「空間的」な見方を働かせることが大切です。誤解答で「1」(雨と同時に水位は高くなる)を選択した児童が、30%いました。

(4) 前のページの表から、かつやさんの学校から見える川の水位についてどのようなことがいえますか。下の1から4までの中から2つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 上流で雨が降り始めると同時に、水位は高くなる。
- 2 上流で雨が降って1～2時間たってから、水位は高くなる。
- 3 上流で雨がやんでも、水位は1～2時間では変わらない。
- 4 上流で雨がやむと同時に、水位は元にもどる。